

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ICT実践演習（Practical ICT Skills）		
ナンバリングコード	P31906	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ビジネスコンピュータ・リテラシー
単位数	1	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修: 情報コミュニケーションコース 選択: 情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P181601	クラス名	-
担当教員名	坂井 美穂		
履修上の注意、履修条件	授業は2つのテーマから構成されます。最初のテーマではPCを使った実習を行うので、データを保存できるようにポータブルHDDまたはUSBメモリを持参してください。2つ目のテーマは、各自のスマホを使い、グループで課題に取り組みます。グループでの活動に支障があるので、遅刻・欠席はしないよう心掛けましょう。また、外部講師の方を招聘するため、既定の時間外での活動があります。初回ガイダンス時に日程を確認してください。		
教科書	必要に応じて資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	講義内で指定します。		
関連科目	ICT 基礎演習・ICT 応用・情報リテラシー1・情報リテラシー2・データ解析及び演習・文章表現基礎講座		

○基本情報		
授業の目的	本授業では、これまでに学んできたICTに関する知識を、知識として持っているだけでなく、実際の問題に対して活用できるようにすることを目的とします。実社会においてICTを利活用する2種類の場面を想定し、それぞれの課題に取り組むことで実際に使える技術を習得します。	
授業の概要	テーマ1では、デジタルデータ情報管理法（電子ファイリング手法）の基礎ならびにGoogleフォームを活用したアンケート調査およびエクセルによるアンケート分析に関する学習を行います。テーマ2では、スマホを使った動画作成技術を習得します。基本的な技術を学んだ後、グループに分かれて「コース紹介」をテーマとして、実践的な動画作成を行います。作成した動画に関し、テーマ1で学習したアンケート調査ならびにアンケート分析を行い、報告書を個人ごとに提出します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	内村 航（外部講師） 株式会社ドウガテックの代表取締役社長 本授業のテーマ2に関連する実務経験として、動画を中心にした教育事業に従事。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会におけるICT利活用の重要性を意識し、ICTに関する実践的な技術の修得にむけて、高い関心をもって取り組むことができる。		20点	10点
【知識・理解】	① アンケート分析に関する基礎的な知識が理解できる。 ② スマホを使った簡単な動画作成のための知識が理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	① エクセルを使ったアンケート分析に関する技術を習得する。 ② スマホを使った動画撮影・編集の技術を習得する。 ③ グループで協力して作品を完成させることができる。		30点	
【思考・判断・創造】	① エクセルを使ったアンケート分析を行い報告書を作成できる。 ② 与えられたテーマに対する効果的な動画の企画・構成ができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
学習成果・課題に対するフィードバックは、次回以降の授業中に講評・解説を行います。 到達目標に対する達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を満たし、提出物・無形成果の合計点数が90点以上 [Aレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をほぼ満たし、提出物・無形成果の合計点数が80点～89点 [Bレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をかなり満たし、提出物・無形成果の合計点数が70点～79点 [Cレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を一部満たし、提出物・無形成果の合計点数が60点～69点

○その他
成績評価における基準は、以下の通りです。 ○提出物(各テーマに関する成果物) 【関心・意欲・態度】 期限内に完成できているか(できるよう、自発的に取り組んだか)。 【知識・理解】【技能・表現・コミュニケーション】 作成物の完成度(当初予定の機能を満たしているか、要求された分析ができているか)。 【思考・判断・創造】 完成物の独自性、あるいは、実習結果に対する考察の度合い。 ○無形成果: 授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ICT実践演習 (Practical ICT Skills) 坂井 美穂	授業コード P181601
学修内容			
1. ガイダンス(坂井・高・松永担当) 授業内容と講義の進め方や評価方法などについて、ガイダンスを行ないます。			
予習			
復習	授業の進め方や評価方法などについて理解する。		約2時間
2. テーマ1:電子ファイレリングについて(坂井担当) ファイレリングについて基本的な事項について説明を行います。 ファイレリングシステムとは何か、仕事(学習)がうまくいくための情報整理の方法にはどのようなものがあるか理解を深め、これからの学習に情報整理術を活用できるようにしましょう。			
予習	ファイレリングの重要性について調べてノートにまとめる		約2時間
復習	ファイレリングシステムの基本技術について調べてレポートを作成する		約2時間
3. テーマ1:紙を使わないアンケート調査について1(坂井担当) 卒業研究にも使用されているGoogleフォームを使ったアンケート調査の方法について学習します。 フォームの使い方について演習を行いながら理解を深めます。アンケート調査はテーマ2の最終でも活用します。			
予習	大学のGoogleアカウントを使ってGoogleフォームを使って簡単なアンケートを作成する		約2時間
復習	大学のGoogleアカウントを使ってGoogleフォームを使って指定された内容のアンケートフォームを作成する		約2時間
4. テーマ1:紙を使わないアンケート調査について2(坂井担当) 質問項目の作り方について学習します。アンケートの質問項目の良い表現の方法、悪い表現の方法について学びます			
予習	これまで体験したアンケート調査の質問項目について一覧表を作成してくる		約2時間
復習	テーマ2で使用するアンケート調査項目を企画・作成し、フォームを完成させる		約2時間
5. テーマ1:アンケートの集計について1(坂井担当) 第4回までに作成したアンケート調査の結果の確認をし、分析の種類および単純集計について学習します GoogleフォームからCSVファイルにデータを変換する方法ならびにエクセルを用いた度数分布やヒストグラムについて学びます。			
予習	エクセルを用い、与えられたデータを使って度数分布およびヒストグラムを作成する		約2時間
復習	エクセルを用いアンケートデータを使って指定された単純集計を行い、データの読み取りを行い、報告書を作		約2時間
6. テーマ1:アンケートの集計について2(坂井担当) 第4回までに作成したアンケート調査の結果の確認をし、分析の種類およびクロス集計について学習します CSVファイルにデータを変換したアンケート結果をにエクセルでクロス集計を行います。			
予習	エクセルを用い、与えられたデータを使ってクロス集計表を作成する		約2時間
復習	エクセルを用いアンケートデータを使ってクロス集計を行い、データの読み取りを行い、報告書を作成する		約2時間
7. テーマ2:スマホを使った動画撮影の準備(外部講師・坂井・松永担当) スマホを使った動画編集の現状について事例を見ながら学習した後、三脚の使い方や動画編集アプリの基本的な使い方等、撮影・編集の準備をします。そして、「キャラハン邸」を対象として、撮影に関する予備知識がない状態で第1回目の撮影・編集を行います。なお、雨天の場合は、対象を変える場合があります。			
予習	動画編集に必要なアプリをインストールする。		約2時間
復習	撮影に必要な準備について理解する。		約2時間
8. テーマ2:動画撮影・編集の基礎技術の学習(外部講師・坂井・松永担当) 各自で作成した動画を鑑賞し、ブラッシュアップするために必要な技術ポイントを学びます。再度撮影・編集・鑑賞を行い、最初に作成した動画と比較し、学んだ技術ポイントの効果を確認します。			
予習	撮影した動画について自己採点し、改善点がないか考える。		約2時間
復習	ブラッシュアップに必要な技術ポイントを理解する。		約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ICT実践演習（Practical ICT Skills） 坂井 美穂	授業コード	P181601
学修内容				
9. テーマ2: 動画編集・応用技術の学習(外部講師・坂井・松永担当) 撮影した動画に音やテキストを付加する技術を学びます。 ・BGM ・テキスト ・ナレーション				
予習	動画に音やテキストを入れる方法を調べる。			約2時間
復習	BGM・テキスト・ナレーションを入れる方法を身につける。			約2時間
10. テーマ2: インタビュー撮影(外部講師・坂井・松永担当) インタビュー形式の動画を撮影する際の基本技術を学びます。実際にインタビュー動画を撮影・編集・鑑賞して、技術的なポイントを確認します。				
予習	インタビュー形式の動画を視聴し、効果的な手法について調べる。			約2時間
復習	インタビュー形式の撮影に対する基本的な技術を習得する。			約2時間
11. テーマ2: 動画作成実践編－企画・構成(外部講師・坂井・松永担当) グループに分かれて、実践的な動画作品の作成に取り組みます。「コース紹介」等のテーマを定め、グループ内での役割分担(監督・撮影・編集等)を決め、企画を練ります。				
予習	他大学の紹介ビデオを調査する。			約2時間
復習	企画した内容についての見直しを行う。			約2時間
12. テーマ2: 動画作成実践編－ロケハン・取材・撮影(外部講師・坂井・松永担当) 撮影場所の実地調査や取材を行います。 作品を構成するために必要な動画を撮影します。				
予習	ロケハンについて調べる。			約2時間
復習	撮影した動画を視聴し、作品を構成する上での過不足を確認します。			約2時間
13. テーマ2: 動画作成実践編－撮影・編集(外部講師・坂井・松永担当) 引き続き、作品を構成するために必要な動画を撮影します。 撮影した動画を編集し、効果をつけ、1つの作品として仕上げます。 グループごとに作成した作品を発表し、講評しあいます。 また、テーマ1で作成したアンケートフォームを使ってアンケート調査を行います				
予習	作品を完成するために必要な動画を確認する。(素材に過不足がないかを確認し、足りない部分は補う。)			約2時間
復習	他グループの作品を鑑賞して、自作品の改良点を確認する。			約2時間
14. テーマ2: 動画作成－総括(外部講師・坂井・松永担当) 動画撮影・編集についての講義・実習内容を振り返り、効果的に動画を利用できる場面や方法について、ディスカッションを行う。				
予習	編集した作品に対して、ブラッシュアップできる箇所がないか確認する。			約2時間
復習	動画作成のための技術を身につけ、実践で応用できるようにする。			約2時間
15. ICT実践演習－総括(坂井・松永担当) 作成した動画およびアンケート調査・分析した結果についてグループごとにA4 1枚(指定様式)のレジュメを作成し、アンケート分析の結果について報告・質疑応答を行う				
予習	A4 1枚(指定様式)のレジュメを作成する			約2時間
復習	質疑応答を踏まえた報告書を完成させる			約2時間
16.				
予習				
復習				